

(別紙1)

地域発 元気づくり支援金 令和4年度重点テーマについて

県全域重点テーマ

✓2050 ゼロカーボンに向けた取組の推進 (R3~)

市町村や住民が一丸となり、2050 ゼロカーボンに向けた意識や行動の変容を促す取組を推進する。

- ・ 住民一丸となった脱炭素まちづくりの実現に向けた取組
- ・ 地域資源を活用した再生可能エネルギーの普及拡大
- ・ 信州プラスチックスマート運動の推進

★プラスワンアクション★

元気づくり支援金を活用するすべての事業において、マイボトル・マイバック持参によるゴミの減量化など、団体の創意工夫によるゼロカーボンを意識した環境にやさしい行動に取り組んでいただきます。

✓地域防災力の向上 (R2~)

地域の支え合いによる避難体制の構築や、地域に残る災害履歴の伝承などの取組を促進させることにより、地域の力で災害からの「逃げ遅れゼロ」を目指す。

- ・ 地域住民の避難体制の構築と防災訓練の実施
- ・ 地域の子供たち等に対する防災教育・災害履歴の伝承事業の実施

地域選択テーマ

✓若者のU I Jターン就業の促進 (R2~)

若者の減少に起因する地域課題の解決を図るため、地域の企業や経済団体、行政機関、教育関係機関・団体など多様な主体が連携して、若者のU I Jターン就業を促進する。

- ・ 早い段階から地元企業を知るキャリア教育
- ・ 県外に進学した学生の地元就職への誘導
- ・ 県外在住の若者の県内移住の促進

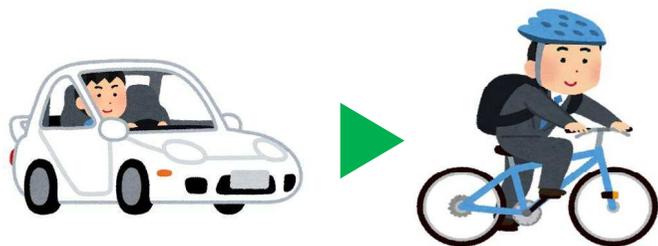
2050ゼロカーボンの実現に向けた プラスワンアクション



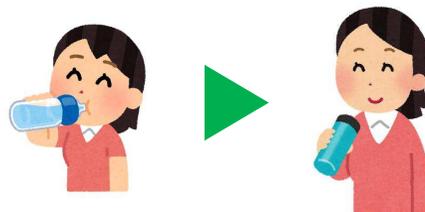
地球温暖化に起因すると考えられる災害や猛暑日が増加し、気候変動はわたしたちの身近な課題となっています。

主な原因とされるCO₂の排出削減のため、環境にやさしい“プラスワンアクション”をお願いします。

近場の移動は、徒歩や自転車で



イベントに参加するときは、飲み物はマイボトルで



買い物をするときは、エコバックを持参



イベントに合わせて、花や木を植える



その他にも…

- エアコンの設定温度を見直す
- 公共交通機関を利用
- 省エネ製品を選ぶ
- 使い捨てプラスチックの使用を控える
- 必要な分だけ買う
- 地元の製品を選ぶ
- 食べ残しゼロ

など

令和4年度 地域発 元気づくり支援金

木曾地域重点テーマ

① 森林、林業を活かした地域づくりの推進

- (1) 林業・木材加工業の高付加価値化に資する事業
- (2) 林業・木工関係の人材育成や拠点形成に資する事業

② 観光地域づくりの推進

- (1) 木曾ブランド（日本遺産など）の再構築や発信に資する事業
- (2) 木曾路の眺望景観の整備に資する事業
- (3) 地域資源（中山道木曾路、星空など）を活かした広域・滞在型観光を促進する事業
- (4) すんき、そば、御嶽はくさい、木曾牛などの地域ブランディングに資する事業

③ 地域防災力・減災力の強化

- (1) 御嶽山安全対策の充実に資する事業
- (2) 土砂災害や地震などに対する地域の防災力、減災力の強化に資する事業

④ 人口減少下における「ひと」・「しごと」の確保

- (1) 起業・就業の支援を促進する事業
- (2) 移住・交流、定住（空き家の利活用を含む）を促進する事業

⑤ 生活基盤の確保

- (1) 地域医療の確保を目指した事業
- (2) 福祉・介護の充実に資する事業
- (3) 子育て・教育の充実に資する事業

令和4年度「地域発 元気づくり支援金」木曽地域重点的テーマ

区 分	判 断 の 目 安
<p>① 森林、林業を活かした地域づくりの推進</p>	<p>①事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊富な森林資源や林業・木工関係教育機関等の集積を活かして、林業・木材加工業の高付加価値化や人材育成、定着を推進することにより地域活性化を図ることを目的としていること。 <p>②事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曽ヒノキや信州プレミアムカラマツのブランド化の促進、間伐材の高付加価値化に資する事業 ・林業、木工関係の人材育成や拠点形成に資する事業 ・上記のほか、様々な視点から関係者等が主体的・自主的に実施する森林・林業を活かした地域づくりの推進を図る事業 <p>③事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業・木材加工業の高付加価値化や人材の育成・定着が促進され、豊かな森林資源を活かした地域づくりの推進が期待できること。
<p>② 観光地域づくりの推進</p>	<p>①事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産など豊富な地域資源や木曽ブランドを活かした観光地域づくりを推進し、観光客や観光消費額の増加、ひいては豊かな地域づくりを目的としていること（御嶽山噴火災害からの復興を含む）。 <p>②事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曽ブランド（日本遺産など）の再構築や発信につながる事業 ・木曽路の眺望景観の整備に資する事業 ・地域資源（中山道木曽路、星空など）を活かした広域、滞在型観光の促進を図る事業 ・すんき、そば、御嶽はくさい、木曽牛などの地域ブランディングや地産地産を推進する事業 ・上記のほか、様々な視点から関係者等が主体的・自主的に実施する観光地域づくりの推進を図る事業 <p>③事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の取組により、国内外の観光客や観光消費額の増加、さらには観光地域づくりの進展が期待できること。
<p>③ 地域防災力・減災力の強化</p>	<p>①事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御嶽山の噴火や土砂災害などに対する地域の防災力、減災力の強化を目的としていること。 <p>②事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御嶽山の安全対策に関する事業 ・防災情報の伝達手段の構築や、防災意識の向上に向けた啓発活動など、地域の安全を確保するために行う事業 ・上記のほか、地域住民や関係者が協働して主体的・自主的に実施する地域の防災力・減災力の強化を図る事業 <p>③事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民など関係者が一体となった取組により、御嶽山の安全対策の強化や地域の防災力・減災力の向上が期待できること。

区 分	判 断 の 目 安
④ 人口減少下における「ひと」・「しごと」の確保	<p>①事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少への対応として、移住・交流・定住やその基盤となる起業・就業の促進を目的としていること。 <p>②事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業・就業につながる「ひと」と「しごと」のマッチングや就労の場づくり等に着眼した取組であること。 ・移住や交流、定住の促進（空き家の利活用を含む）に取り組む事業 ・上記のほか、様々な視点から地域住民等が主体的・自主的に実施する移住、交流、定住や就労促進などを図る事業 <p>③事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係者の一体的な取組により、U・Iターン等による移住、交流、定住や就労などが促され、地域の活力向上が期待できること。
⑤ 生活基盤の確保	<p>①事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や少子高齢化が進む中でも、子どもから高齢者まで安心して暮らし続けられるよう、基本となる医療、福祉、介護、子育てや教育支援の確保・充実を目的としていること。 <p>②事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療（医療従事者）の確保を推進する事業 ・病院や介護保険など公的部門のサービスの不足部分を補うため、医療・福祉関係者や住民が連携して行う事業 ・子育ての情報共有や相互支援等を目的とする地域の団体がその目的に沿って主体的、自主的に行う事業 ・上記のほか、様々な視点から関係者や地域住民等が主体的・自主的に実施する医療、福祉、介護、子育てや教育支援の確保・充実を図る事業 <p>③事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係者の一体的な取組により、医療、福祉、介護、子育てや教育支援の確保・充実が期待できること。